



葛飾北斎「浮世画譜」より

平成24年度 山口県文書館古文書実践講座テキスト

山口町人安部氏の奥州旅日記

© 「恋じいるまかい道」

No.4

才家あちハ川田町の川にあちト
以風を阻とテテチ別と

下テイナ

志清 志土屋あちハ後中

九百ハあちハあちヨリ水ニカ

東山向行テテテテテテテテテテ

度法水トテ冷泉アリ又テテテ

道分道ありヨリタリ

ハ焼酎ハ信ハヨリ田土以村

天月山
○法平山 法平山

千ヨク教テテテテテテテテテ

宗山ハ中法也脚一本地あり

山法ありとテテテテテテテ

ミカリありテテテテテテテ

今ハ信法也津徳脚ト

安土の由法法師一本地あり
山法師の由法法師一本地あり

と云ふ事ありといふ事あり
今のは信濃津波脚トリ

田ノ下也又富ノ下ト道ノ下也
田ノ下也又富ノ下ト道ノ下也

田ノ下也又富ノ下ト道ノ下也
田ノ下也又富ノ下ト道ノ下也

田ノ下也又富ノ下ト道ノ下也
田ノ下也又富ノ下ト道ノ下也

夕陽カ西がめつたに
夕陽カ西がめつたに

夕陽カ西がめつたに
夕陽カ西がめつたに

夕陽カ西がめつたに
夕陽カ西がめつたに

夕陽カ西がめつたに
夕陽カ西がめつたに

夕陽カ西がめつたに
夕陽カ西がめつたに

夕陽カ西がめつたに
夕陽カ西がめつたに

天地開闢
關東神

受取たるものなり

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

は、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

行の記を、
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

十四万の白紙構ナリ

十四万の白紙構ナリ

故、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

十四万の白紙構ナリ
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

當加監者
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

あつた
あつた
あつた

ナリ

筑前山
いかにいかに

當伽藍者

かたりあり

証書大將軍

六ヶ浦羊あり

従一位大臣

大佛あり

源家光公御

りかちあり
うけあり
うけあり
うけあり

再興也

海あり

まよりい
山と山と

う
まよりい
まよりい

い
男
女
山
山
山

あ
い
い
い

い
い
い
い

い
い
い
い

い
い
い
い



東村
アヨリ
二尾ノ
...

又御
...

...

...

...

...

...

...

...

...

二
ク
カ
カ

三
月
中

小倉の御用

二
月
八
日

作
務
の
御
用

小倉の御用

一
十
七
日
朝
出

行
会

ヲ
ハ
タ
シ

日
記

水
産
の
御
用

小倉の御用

た
ら
し
い
ら
し
い
ら
し
い

人
事
の
御
用

二
月
八
日

湯
物
の
御
用

西
方
の
御
用

湯
物
の
御
用

湯
物
の
御
用

湯
物
の
御
用

○東
京
の
御
用

湯
物
の
御
用

西の方をり念及の事ヨリ
馬場尾見北地を歩かざる者

馬場尾又ヨリ行

○東照宮へ流湯山よりヨリ
マヨリし何とて出でる
申す所を折る
若くは

二十一日暮あつた中川後石

五百石流湯ちる右沖方

申し向ふは中川ヨリ中谷リ

金行 村松 村松山

月吉同寺大万らくし
日本こくくをり

不堂の向ふたるあり
方彼より 信者 洞の

南小 寺行

天照白里大神

國	士	紅	盛	以	民	快	樂
持	德	既	結	俣	行	之	子
多	福	滿	相	念	遠	身	變
大	海	量	可	急	十	工	力
牙	屋	梁	橋	牙	牙	牙	牙

不くし老のまゝ
 号つておろし
 かくしおろし
 九人、六人、五人
 兄
 金
 金

是ヨリち内ヨリと通はるる
 大地ナリ形も地ナリ
 右ハ松余大海ナリ又成ニ波をうらみ
 ノ白ゆノんヒロクモナリ終るナリ
 之名坂山山名ニ于浦傍いり
 〇ノ村後リもなまヨリナリ
 〇ノ村後リもなまヨリナリ

里人ナリ曰是ヨリ七里真久
 ヶが村〇山王権記社名七十三〇
 けるニ活キナリナリ月スナニキ大

え名坂豊山... 浦保...
ヨリ... 行漢

里人... 七里...
ケが村の山王...
ける二...
七...
小田...
是ヨリ十里...
百...
上...
へ...
ヨ...
い...
レ...
ヨ...
四...

ナニト物流テヤカテ門ヲ出テハ
ナニトカシクオチクモウセニケル
物ナリ共ハニキ年ナトイナリ

アヨリも久し傳い行テコウ余又里

ニ生テ立テテカキテハ高キ松枕
毛流リニタル内黒木月カキ多
物ニテ余行。和泉大明神社有

○和泉川

山森ヲ和泉川ナリ

ヒタクテ国多賀郡水本村ナリ
後リニ又ナリ魚池ノ内ナリ
水氷冷水流テ其ニ海キト砂
アキハス砂水もえりカキ高キ
スハハカリカキ氷ノ水
ナリト云

アヨリも久し傳い行テコウ余又里

ナニトカシクオチクモウセニケル

物ナリ共ハニキ年ナトイナリ

へつちゆえん砂氷をいりたるが
 へつちゆえん砂氷をいりたるが
 へつちゆえん砂氷をいりたるが
 へつちゆえん砂氷をいりたるが
 へつちゆえん砂氷をいりたるが
 へつちゆえん砂氷をいりたるが

ちヨリつこむ向う行か向に竹森内山
 なが内角経の邊ノ地ニ
 〇みりねのやう〇石明神社有右
 村はヨリにり夜近なる紛道を
 久ニ逢惑にケル風をを一人カケ
 ツしにケレハい男油く能給と思を
 ワサト葉のサリシタリケリ別ニリ
 ニニリヤアにせしケレシモ中へテ書
 センカヤモナソフクソク又は其後多
 ホイナナナナナナナ又は其後多
 東にカウニ一リちる信村地
 ワカシケルフツナツカニキク陽物
 カタフケハマルカガニ行有とケレ
 ニ友に者ナリ今はハテ行カントま
 コロニハケレハるナレニまナリ行
 たり

かねの
 ねの
 ねの
 ねの
 ねの